



日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年10月 4日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-304370

出 願 人
Applicant(s):

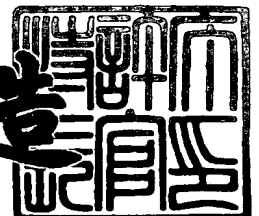
ブラザー工業株式会社

RECEIVED
DEC 04 2001
Group 2100

2001年11月 9日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3098607

【書類名】 特許願

【整理番号】 20000218

【提出日】 平成12年10月 4日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 個別情報表示製品の販売方法、個別情報表示製品の販売システム、および、個別情報表示製品の販売に用いられるサーバ

【請求項の数】 13

【発明者】

 【住所又は居所】 愛知県名古屋市長区瑞穂区苗代町 1 5 番 1 号 ブラザー工業株式会社内

 【氏名】 不破 鉄治

【特許出願人】

 【識別番号】 000005267

 【氏名又は名称】 ブラザー工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089196

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 梶 良之

【選任した代理人】

 【識別番号】 100104226

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 須原 誠

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 014731

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

特 2 0 0 0 - 3 0 4 3 7 0

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9505720

【包括委任状番号】 9809444

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 個別情報表示製品の販売方法、個別情報表示製品の販売システム、および、個別情報表示製品の販売に用いられるサーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークを用いて個別情報が表示された個別情報表示製品を販売するための個別情報表示製品の販売方法において、

クライアントから通信ネットワークを介してサーバに供給された個別情報に基づいて、個別情報が表示された個別情報表示製品のプレビュー画像を作成し、

作成されたプレビュー画像をクライアントに送信してクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とする個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 2】 個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアント側での個別情報に係る文字入力にตอบสนองしてリアルタイムで行われることを特徴とする請求項 1 に記載の個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 3】 個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアントからサーバへのプレビュー受信要求にตอบสนองして行われることを特徴とする請求項 1 に記載の個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 4】 商品として選択可能な色に対応した複数のプレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 5】 商品として選択可能な文字書体に対応した複数のプレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 6】 商品として選択可能な製品サイズに対応した複数のプレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 7】 商品として選択可能な種類の異なる個別情報表示製品に対応したプレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特

徴とする請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の個別情報表示製品の販売方法。

【請求項 8】 通信ネットワークを用いて個別情報が表示された個別情報表示製品を販売するための個別情報表示製品の販売システムにおいて、

クライアントとサーバとが通信ネットワークを介して接続されており、

クライアントから通信ネットワークを介してサーバに供給された個別情報に基づいて、個別情報が表示された個別情報表示製品のプレビュー画像が作成され、

作成されたプレビュー画像がクライアントに送信されてクライアントのブラウザに表示されるように構成されていることを特徴とする個別情報表示製品の販売システム。

【請求項 9】 個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアント側での個別情報に係る文字入力にตอบสนองしてリアルタイムで行われることを特徴とする請求項 8 に記載の個別情報表示製品の販売システム。

【請求項 10】 個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアントからサーバへのプレビュー受信要求にตอบสนองして行われることを特徴とする請求項 8 に記載の個別情報表示製品の販売システム。

【請求項 11】 通信ネットワークを用いて個別情報が表示された個別情報表示製品の販売に用いられるサーバにおいて、

クライアントから通信ネットワークを介して供給された個別情報に基づいて、個別情報が表示された個別情報表示製品のプレビュー画像を作成するプレビュー画像作成手段と、

作成されたプレビュー画像をクライアントに送信する送信手段とを備えていることを特徴とする個別情報表示製品の販売に用いられるサーバ。

【請求項 12】 個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントへの送信を、クライアント側での個別情報に係る文字入力にตอบสนองしてリアルタイムで行うように構成されていることを特徴とする請求項 11 に記載の個別情報表示製品の販売に用いられるサーバ。

【請求項 13】 個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクラ

クライアントへの送信を、クライアントからサーバへのプレビュー受信要求に応答して行うように構成されていることを特徴とする請求項 1 1 に記載の個別情報表示製品の販売に用いられるサーバ。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、スタンプや名刺などの個別情報が表示された個別情報表示製品の販売方法、販売システム、および、その販売に用いられるサーバに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、インターネットに代表されるコンピュータネットワーク技術の発展に伴い、WWW（ワールドワイドウェブ）を利用したGUIベースの電子商取引、特に小売り業者と消費者との間での通信販売が活発に行われている。このようにWWWを通信販売に用いることにより、購入者は多数の商品のサンプル画像をブラウザ上で確認して安心して迅速に商品の購入をすることが可能になり、販売者は地理的に広範囲の消費者からの注文を低コストで受けることが可能となるという利益がある。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、スタンプや名刺などの個人情報或いは企業情報（例えば、個人や法人の氏名（或いは名称）、住所、郵便番号、電話番号、電子メールアドレスなど）が製版や印刷によって表示された製品に関しては、大多数の場合において製品に表示される情報は、その注文に係る製品に特有のものである。従って、スタンプや名刺などの製品がインターネットを介して通信販売される場合、購入者は、所望の文字が実際に表示された製品の画像をブラウザ上で確認することができず、同様のレイアウトをもった製品のサンプル画像を見ることで実際に注文しようとする製品の仕上がり状態を想像するしかなく、購入者にとっては非常に不便である。

【 0 0 0 4 】

特に、ブラウザに表示されるサンプル画像に含まれる文字数が実際に購入しようとする製品に含まれる文字数と大きくかけ離れている場合には、1行に収まるつもりで入力した文字列が2行にわたって表示されるなど実際の製品とサンプル画像とで文字の表示行数が変わってしまって、購入者の想像とは大きく異なる製品が出来上がってしまうことがある。そのため、スタンプや名刺などをインターネット上で注文する購入者が発注時に不安を感じることがあり、それがスタンプや名刺などの個別情報が表示された製品のインターネット通販において大きな支障となっている。

【0005】

そこで、本発明の目的は、スタンプや名刺などの個別情報が表示された製品をインターネットなどの通信ネットワークを用いて販売する場合に、購入者が製品の仕上がり状態を確認してから安心して製品を注文することを可能とする個別情報表示製品の販売方法、販売システム、および、その販売に用いられるサーバを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1の個別情報表示製品の販売方法は、通信ネットワークを用いて個別情報が表示された個別情報表示製品を販売するための個別情報表示製品の販売方法において、クライアントから通信ネットワークを介してサーバに供給された個別情報に基づいて、個別情報が表示された個別情報表示製品のプレビュー画像を作成し、作成されたプレビュー画像をクライアントに送信してクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とするものである。

【0007】

請求項8は、通信ネットワークを用いて個別情報が表示された個別情報表示製品を販売するための個別情報表示製品の販売システムにおいて、クライアントとサーバとが通信ネットワークを介して接続されており、クライアントから通信ネットワークを介してサーバに供給された個別情報に基づいて、個別情報が表示された個別情報表示製品のプレビュー画像が作成され、作成されたプレビュー画像

がクライアントに送信されてクライアントのブラウザに表示されるように構成されてたものである。

【0008】

請求項11は、通信ネットワークを用いて個別情報が表示された個別情報表示製品の販売に用いられるサーバにおいて、クライアントから通信ネットワークを介して供給された個別情報に基づいて、個別情報が表示された個別情報表示製品のプレビュー画像を作成するプレビュー画像作成手段と、作成されたプレビュー画像をクライアントに送信する送信手段とを備えたものである。

【0009】

請求項1、8、11によると、個別情報表示製品の購入者はプレビュー画像をブラウザ上で確認してから個別情報表示製品の購入を決定することができるようになるので、自分の思い描いていたイメージとは異なる製品が製造されてしまうという事態を未然に防止することができる。これにより、通信ネットワークを用いた商取引の利便性が大幅に改善される。

【0010】

また、請求項2は、請求項1に記載の個別情報表示製品の販売方法において、個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアント側での個別情報に係る文字入力に応答してリアルタイムで行われることを特徴とするものである。

【0011】

請求項9は、請求項8に記載の個別情報表示製品の販売システムにおいて、個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアント側での個別情報に係る文字入力に応答してリアルタイムで行われることを特徴とするものである。

【0012】

請求項12は、請求項11に記載の個別情報表示製品の販売に用いられるサーバにおいて、個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントへの送信を、クライアント側での個別情報に係る文字入力に応答してリアルタイムで行うように構成されていることを特徴とするものである。

【0013】

請求項2、9、12によると、プレビュー画像がリアルタイムでブラウザに表示されるので、購入者は文字の入力に応じて逐次プレビュー画像を自動的に確認することが可能になる。特に、サーバークライアント間の通信速度が大きい場合に有効である。

【0014】

また、請求項3は、請求項1に記載の個別情報表示製品の販売方法において、個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアントからサーバへのプレビュー受信要求に応答して行われることを特徴とするものである。

【0015】

請求項10は、請求項8に記載の個別情報表示製品の販売システムにおいて、個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントのブラウザへの表示が、クライアントからサーバへのプレビュー受信要求に応答して行われることを特徴とするものである。

【0016】

請求項13は、請求項11に記載の個別情報表示製品の販売に用いられるサーバにおいて、個別情報表示製品のプレビュー画像の作成およびそのクライアントへの送信を、クライアントからサーバへのプレビュー受信要求に応答して行うように構成されていることを特徴とするものである。

【0017】

請求項3、10、13によると、プレビュー画像がクライアントからのプレビュー受信要求に応答して行われるので、プレビュー画像を表示させるためにサーバとの間でデータ通信が行われるのは最終的に個別情報の入力が終わってからの1度だけでよく、通信ネットワークの通信速度が遅い場合であってもサーバとの間のデータ通信に多大な時間を消費することがない。

【0018】

また、請求項4は、請求項1～3のいずれか1項に記載の個別情報表示製品の販売方法において、商品として選択可能な色に対応した複数のプレビュー画像

をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とするものである。請求項5は、同じく、商品として選択可能な文字書体に対応した複数のレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたものであり、請求項6は、商品として選択可能な製品サイズに対応した複数のレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことものである。

【 0 0 1 9 】

請求項4～6によると、色、文字書体、または、サイズの異なる個別情報表示製品を複数表示させることができるので、購入者が個別情報表示製品の事前確認をより確実に行うことが可能となる。

【 0 0 2 0 】

また、請求項7は、請求項1～6のいずれか1項に記載の個別情報表示製品の販売方法において、商品として選択可能な種類の異なる個別情報表示製品に対応したレビュー画像をクライアントのブラウザに表示させるようにしたことを特徴とするものである。

【 0 0 2 1 】

請求項7によると、種類の異なる個別情報表示製品を表示させることができるので、購入者に別種類の個別情報表示製品の購入を促して販売促進を図ることが可能となる。

【 0 0 2 2 】

本発明において、個別情報とは、法人などの何らかの人的集合体或いは個人の氏名（名称）、住所、電話番号、電子メールアドレスなどの人的情報のほか、創作された文章、キャッチフレーズ、特定の内容を意味する記号の組み合わせなど様々な情報を含むものとする。また、本発明でいう「個別情報表示製品」には、例えば、スタンプ、名刺、表札、千社札、ステッカーなどが含まれる。

【 0 0 2 3 】

また、本発明において、通信ネットワークとしては、インターネット、LAN、WANなどの公知のどのようなネットワークが使用されてもよい。なお、本発明では、サーバの機能が1つのコンピュータだけにあってもよいし、複数のコンピュータに分散していてもよい。また、文字入力文字の追加、削除、漢字の変

更などを含むものとする。

【 0 0 2 4 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の好適な一実施の形態について、図面を参照しつつ説明する。

【 0 0 2 5 】

図 1 は、本発明の一実施の形態に係るスタンプの販売システムのブロック図である。この販売システムには、サーバとして機能するスタンプ販売者のコンピュータ 1 と、コンピュータ 1 に対するクライアントとなるスタンプ購入者のコンピュータ 2 0 と、同じくコンピュータ 1 に対するクライアントとなるスタンプ製造業者のコンピュータ 3 0 とが含まれており、これらはインターネット 4 0 を介して互いにデータ通信可能に接続されている。なお、図 1 においてクライアントであるコンピュータ 2 0、3 0 はそれぞれ 1 つしか描かれていないが、インターネット 4 0 に接続されたすべてのコンピュータがクライアントとなりうる。

【 0 0 2 6 】

サーバであるコンピュータ 1 は、インターネット 4 0 に準拠したプロトコルでコンピュータ 2 0、3 0 とデータの送受信を行うための通信部 2 と、HTML (hyper text markup language) で記述されたウェブページのインターネット 4 0 を介した HTTP (hyper text transfer protocol) による送受信を管理するウェブ管理部 3 と、HTML および / またはテキストで記述されたメールのインターネット 4 0 を介した SMTP (simple mail transfer protocol) および POP (post office protocol) による送受信を管理するメール管理部 4 と、スタンプ印面のレビュー画像およびプレビュー画像のデータを作成する画像データ作成部 5 と、後述する 3 つのデータベース 7、8、9 を管理するデータベース管理部 6 と、過去に注文歴がある顧客（後述する ID (顧客識別子) を有している）に関する情報を記録した顧客データベース 7 と、コンピュータ 2 0、3 0 に送信されるウェブページの HTML ファイル（メールファイルを含む）を記憶したウェブページデータベース 8 と、スタンプのタイプごとにそのレイアウトに関するファイルを記憶したスタンプタイプデータベース 9 とを含んでいる。

【 0 0 2 7 】

ウェブ管理部 3 は、入力データ解析部 3 a と、出力データ生成部 3 b とを具備している。入力データ解析部 3 a は、インターネット 4 0 を介して通信部 2 から HTTP に基づいて供給されたデータの内容を解析する。出力データ生成部 3 b は、入力データ解析部 3 a での解析結果に応じて、通信部 2 から HTTP に基づいて送信されてコンピュータ 2 0、3 0 に供給される HTML データを生成する。

【0028】

メール管理部 4 は、受信メール解析部 4 a と、送信メール生成部 4 b とを具備している。受信メール解析部 4 a は、インターネット 4 0 を介して通信部 2 からメール管理部 4 に POP に基づいて供給された電子メールの内容を解析する。送信メール生成部 4 b は、通信部 2 から SMTP に基づいて送信されてコンピュータ 2 0、3 0 に供給される電子メールを生成する。

【0029】

画像データ作成部 5 は、プレビュー作成部 5 a と、レビュー作成部 5 b とを具備している。プレビュー作成部 5 a は、ID 入力されたときに当該 ID をもつ顧客の住所、氏名が表示されたスタンプタイプごとのプレビュー画像である多数の個別サンプル画像を作成すると共に、注文に係るスタンプ印面のプレビュー画像の受信要求がコンピュータ 2 0 からあったときにプレビュー画像を作成する。なお、プレビュー作成部 5 a は、後述する変形例で説明するように、クライアントであるコンピュータ 2 0 でのスタンプ印面内容の文字入力に応答してリアルタイムでプレビュー画像を作成してもよい。レビュー作成部 5 b は、顧客データベース 7 に登録された ID を有する顧客がスタンプを注文した際に、その顧客が過去に注文したスタンプ印面のレビュー画像を作成する。

【0030】

データベース管理部 6 は、顧客データベース 7、ウェブページデータベース 8 およびスタンプタイプデータベース 9 から必要なデータを抽出すると共に、データベース 7、8、9 の書き換えを制御する。また、データベース管理部 6 は、ID をもたない顧客がスタンプを注文した際に、その顧客の ID を作成して顧客データベース 7 に書き込む。

【 0 0 3 1 】

顧客データベース 7 は、図 2 に示すように、各顧客の識別子となる I D を、顧客本人の人的情報（氏名、住所、電子メールアドレス、電話番号、その他）、および、当該顧客のスタンプについての過去の注文情報（各注文ごとの注文日、スタンプタイプ、印面文字列内容、インク色、書体、注文個数、届け先情報など）を含む顧客情報に関連づけて記憶している。

【 0 0 3 2 】

ウェブページデータベース 8 は、スタンプ注文の各過程において顧客のコンピュータ 2 0 に送信されてブラウザによって例えば図 6 ～図 9 に示すように表示される HTML ファイル、スタンプ製造業者のコンピュータ 3 0 に送信される HTML ファイル或いはメールファイル、および、ダイレクトメール販売時に顧客のコンピュータ 2 0 に送信されるメールファイルを記憶している。

【 0 0 3 3 】

スタンプタイプデータベース 9 は、あらかじめ定められたスタンプのタイプ名（例えば、A - 0 2、A - 0 3 など）をそのレイアウト（印面のデザインであり、印面全体の大きさや印面内での文字表示領域の区分け線の位置を含む）と関連づけて記憶していると共に、予め定められた所定印面を有するスタンプ印面の通常サンプル画像をスタンプのタイプごとに記憶している。

【 0 0 3 4 】

一方、クライアントであるコンピュータ 2 0 には、ウェブ閲覧ソフトウェアであるブラウザ 2 1 と、メール送受信ソフトウェアであるメーラ 2 2 とがインストールされている。なお、コンピュータ 2 0 の使用者が過去においてコンピュータ 1 からスタンプを購入したことがある場合には、その顧客の I D 番号が記載されたメール或いは HTML ファイル 2 3 （コンピュータ 1 から送信されたもの）がコンピュータ 2 0 に記憶されていることがある。

【 0 0 3 5 】

また、クライアントであるコンピュータ 3 0 には、ウェブ閲覧ソフトウェアであるブラウザ 3 1 と、メール送受信ソフトウェアであるメーラ 3 2 とがインストールされている。また、コンピュータ 3 0 には、外部から送信された画像ファイ

ルに基づいた印面を有するスタンプを製造することができるスタンプ製造装置 33 が接続されている。そのため、コンピュータ 30 を操作することによって、サーバであるコンピュータ 1 から送信されたデータを用いてスタンプ製造装置 33 でスタンプを製造することが可能である。

【0036】

次に、本実施の形態に係るスタンプ販売方法について、図 3～図 9 に基づいて説明する。図 3～図 5 は、本実施の形態に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。図 6～図 9 は、本実施の形態に係るスタンプ販売方法の各段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。

【0037】

本実施の形態のスタンプ販売方法では、まず、図 3 のステップ S1 において、ID の入力を顧客に求めるウェブページの送信要求がクライアントからあったかどうかウェブ管理部 3 の入力データ解析部 3a で繰り返して判断される。そして、送信要求があった場合には（S1：YES）、ステップ S2 に進む。ステップ S2 では、図 6 に示す ID 入力画面をコンピュータ 20 のブラウザ 21 に表示させるファイルがデータベース管理部 6 によってウェブページデータベース 8 から取り出され、通信部 2 からコンピュータ 20 に送信される。なお、ID 入力画面では、ID と共にパスワード（ID に関連づけて顧客データベースに記憶されている）の入力を求めるようにしてもよい。

【0038】

そして、ステップ S3 では、コンピュータ 20 で ID 入力が行われ、コンピュータ 1 に顧客の ID が送信されたかどうかが入力データ解析部 3a で判断される。そして、ID が入力および送信された場合には（S3：YES）、ステップ S4 に進む。ステップ S4 では、データベース管理部 6 が、ステップ S3 で入力された ID に対応した顧客が過去に注文したスタンプ内容情報（スタンプのタイプ、印面文字列内容、インク色、書体など）と、顧客本人の人的情報（氏名、住所、電話番号、電子メールアドレスなど）とを顧客データベース 7 から抽出する。

【0039】

次に、ステップ S 5 では、ステップ S 4 で抽出されたスタンプ内容情報に基づいて、画像データ作成部 5 のレビュー作成部 5 b が、入力された I D をもつ顧客が過去に注文したスタンプの印面を再現したレビュー画像を作成する。また、画像データ作成部 5 のプレビュー作成部 5 a が、入力された I D をもつ顧客本人の人的情報を印面に含む、スタンプタイプごとの多数の個別サンプル画像を作成する。ステップ S 5 で作成される個別サンプル画像のインク色および文字書体は、代表的なもの（例えば、インク色としては黒、文字書体としては明朝体）が採用されてよい。

【 0 0 4 0 】

ステップ S 6 では、個別サンプル画像およびレビュー画像の貼り付けタグが記述された個別サンプル画像およびレビュー画像表示用 HTML ファイルがウェブページデータベース 8 から取り出される。そして、この HTML ファイルが、ステップ S 5 で作成されたレビュー画像および個別サンプル画像と共に、通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。このとき送信される HTML ファイルに貼り付けられた個別サンプル画像およびレビュー画像は、それぞれに表示されたスタンプタイプを選択するボタンとして機能する。そのため、貼り付けられたいずれかの画像が顧客によってマウスクリックされると、その画像に係るスタンプタイプが選択されたことになる。

【 0 0 4 1 】

続いて、ステップ S 7 では、ステップ S 6 で送信した HTML ファイルに貼り付けられたスタンプタイプごとの個別サンプル画像およびレビュー画像のいずれかがマウスクリックされたかどうかが入力データ解析部 3 a で判断される。いずれの画像もマウスクリックされない場合には（S 7 : N O）、ステップ S 7 が繰り返して実行される。また、個別サンプル画像についてマウスクリックが行われると（S 7 : Y E S）、ステップ S 8 に進む。また、レビュー画像についてマウスクリックが行われると、顧客がレビュー画像を印面として有するスタンプの注文を希望していると判断し、印面情報の入力を省略して後述するステップ S 1 5 に進む。

【 0 0 4 2 】

ステップS8では、データベース管理部6が、ステップS3で入力されたIDに対応した顧客本人に関する人的情報（顧客が個人の場合は、氏名、住所、郵便番号、電話番号、ファックス番号、会社名、所属部署、肩書き、電子メールアドレスなど、顧客が法人などの個人の集合体の場合は、名称、住所、郵便番号、電話番号、ファックス番号、その他）を顧客データベース7から抽出する。

【0043】

次に、ステップS9では、ステップS8で抽出された顧客本人に関する人的情報がウェブ管理部3の出力データ生成部3bに送られる。さらに、ステップS9において、出力データ生成部3bは、データベース管理部6がウェブページデータベース8から取り出した印面情報入力用のHTMLファイルの入力欄に、ステップS8で抽出された顧客本人に関する人的情報が書き換え可能に埋め込まれた状態のファイルを作成する。そして、ステップS10において、ステップS9で生成された印面情報入力用のHTMLファイルが、通信部2からコンピュータ20に送信される。

【0044】

図7は、ステップS9においてウェブページデータベース8から取り出された印面情報入力用のHTMLファイルのブラウザでの表示例である。図7に示すように、本実施の形態において、印面情報入力用画面には、すでに選択されたスタンプのタイプ番号およびそのサイズが表示されるほか、インク色の選択用ラジオボタン、書体の選択用ラジオボタン、注文個数入力欄、印面文字列内容入力欄（郵便番号、住所（2行）、氏名、電話番号の入力欄がそれぞれ入力例文字列の下に設けられている）、印面サンプル、プレビュー閲覧ボタンが表示されている。

【0045】

なお、図7では印面文字列内容の入力欄を空欄としているが、実際に顧客に送信されるファイルには、この欄に顧客の住所、氏名などがそれぞれ入力されている。従って、顧客は、印面文字列内容を変える必要がなければ、印面文字列内容の入力欄に入力された文字を変更することなくそのままプレビュー閲覧ボタンをマウスクリックすればよく、必要があれば印面文字列内容の入力欄を書き換えて

からプレビュー閲覧ボタンをマウスクリックすればよい。プレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされると、その旨のデータが、ステップS10で顧客に送信された印面情報入力用のHTMLファイルと共にコンピュータ1に返送される。

【0046】

続いて、ステップS11では、印面情報入力用画面に表示されたプレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされたかどうか、ウェブ管理部3の入力データ解析部3aで判断される。プレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされない場合には(S11:NO)、ステップS11が繰り返して実行される。また、プレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされた場合(S11:YES)、ステップS12に進む。

【0047】

ステップS12では、ステップS10で顧客に送信されたHTMLファイルに入力されたデータが入力データ解析部3aで解析される。さらに、解析された入力データに基づいて、画像データ作成部5のプレビュー作成部5aにおいて、顧客が今回注文したスタンプの印面を描いたプレビュー画像が作成される。このプレビュー画像は、印面情報入力用画面で入力された書体、インク色、印面文字列内容を反映したものとなっている。そして、ステップS13に進み、ステップS12で作成されたプレビュー画像の貼り付けタグをもつHTMLファイルがウェブページデータベース8から取り出され、取り出されたHTMLファイルがプレビュー画像と共に通信部2からコンピュータ20に送信される。

【0048】

図8は、ステップS12において作成されたプレビュー画像が貼り付けられたプレビュー表示用のHTMLファイルのブラウザでの表示例である。図8に示すように、本実施の形態において、プレビュー表示画面には、スタンプ印面のプレビュー画像のほか、印面修正ボタン、注文ボタン、別注文実行ボタンが表示されている。

【0049】

次に、ステップS14では、プレビュー表示画面に表示された3つのボタンのいずれがマウスクリックされたかが入力データ解析部3aで判断される。その結

果、別注文実行ボタンがマウスクリックされた場合には、ステップS4に戻って同様の手順を繰り返して行う。また、印面修正ボタンがマウスクリックされた場合には、ステップS10に戻って印面情報入力用のHTMLファイルが再度コンピュータ20に送信される。また、注文ボタンがマウスクリックされた場合には、図4のステップS15に進む。

【0050】

ステップS15では、データベース管理部6が、ステップS3で入力されたIDに対応した顧客本人の人的情報（顧客が個人の場合は、顧客の氏名、住所、郵便番号、電話番号、顧客が法人の場合は、名称、住所、郵便番号、電話番号）を顧客データベース7から抽出する。

【0051】

次に、ステップS16では、ステップS15で抽出された顧客本人の人的情報がウェブ管理部3の出力データ生成部3bに送られる。さらに、ステップS16において、出力データ生成部3bは、データベース管理部6がウェブページデータベース8から抽出した注文情報入力用のHTMLファイルのスタンプの発注者および届け先の入力欄に、ステップS15で抽出された顧客本人の人的情報が書き換え可能に埋め込まれた状態のファイルを作成する。

【0052】

そして、ステップS17において、ステップS16で生成された注文情報入力用のHTMLファイルが、通信部2からコンピュータ20に送信される。このとき送信されるファイルに基づいてブラウザ21に表示される注文情報入力用画面には、注文したスタンプ印面のプレビュー画像、スタンプ代金の支払方法を説明した文章および支払金額が表示されるほか、注文確定ボタンおよび注文取消ボタンが表示される。従って、顧客は、届け先を変える必要がなければ、届け先入力欄に入力された内容を変更することなくそのまま注文確定ボタンをマウスクリックすればよく、必要があれば届け先入力欄を書き換えてから注文確定ボタンをマウスクリックすればよい。注文確定ボタンがマウスクリックされると、その旨のデータが、ステップS17で顧客に送信された注文情報入力用のHTMLファイルと共にコンピュータ1に返送される。

【0053】

続いて、ステップS18では、注文情報入力用画面に表示された2つのボタン（注文確定ボタンおよび注文取消ボタン）のいずれかがマウスクリックされたかどうかが入力データ解析部3aで判断される。いずれのボタンもマウスクリックされない場合には（S18:NO）、ステップS18が繰り返して実行される。また、注文取消ボタンがマウスクリックされた場合、本販売フローが終了し、コンピュータ20にトップページが送信される。また、注文確定ボタンがマウスクリックされた場合、ステップS19に進む。

【0054】

ステップS19では、データベース管理部6によってウェブページデータベース8からスタンプの注文確認画面を表示するHTMLファイルが取り出され、そのファイルが通信部2からコンピュータ20に送信される。続いて、ステップS20では、データベース管理部6が、今回の注文内容に基づいて、注文に係るIDに関して顧客データベースを書き換える。

【0055】

次に、ステップS21において、メール管理部4の送信メール生成部4bが、スタンプ製造業者のコンピュータ30宛のメールを生成する。このメールは、今回の注文に係る印面内容情報を含むものである。そして、作成されたメールは、通信部2からインターネット40を介してコンピュータ30に送信される。

【0056】

一方、ステップS3においてID入力および送信が行われなかったと判断された場合（S3:NO）、図5のステップS22に進む。ステップS22では、データベース管理部6によってウェブページデータベース8から取り出された通常サンプル画像の貼り付けタグが記述された通常サンプル画像表示用HTMLファイルが、スタンプタイプデータベース9から抽出されたスタンプタイプごとの通常サンプル画像と共に、通信部2からコンピュータ20に送信される。

【0057】

続いて、ステップS23では、ステップS22で送信したHTMLファイルに貼り付けられたスタンプタイプごとの通常サンプル画像がマウスクリックされた

かどうかが入力データ解析部 3 a で判断される。いずれの通常サンプル画像もマウスクリックされない場合には (S 2 3 : N O) 、ステップ S 2 3 が繰り返して実行される。また、通常サンプル画像のマウスクリックが行われると (S 2 3 : Y E S) 、ステップ S 2 4 に進む。

【 0 0 5 8 】

ステップ S 2 4 では、データベース管理部 6 がウェブページデータベース 8 から印面情報入力用の HTML ファイルを取り出し、この HTML ファイルが通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。

【 0 0 5 9 】

続いて、ステップ S 2 5 では、印面情報入力用画面に表示されたプレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされたかどうかが入力データ解析部 3 a で判断される。プレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされない場合には (S 2 5 : N O) 、ステップ S 2 5 が繰り返して実行される。また、プレビュー閲覧ボタンがマウスクリックされた場合 (S 2 5 : Y E S) 、ステップ S 2 6 に進む。

【 0 0 6 0 】

ステップ S 2 6 では、ステップ S 2 4 で顧客に送信されたファイルに入力されたデータが入力データ解析部 3 a で解析される。さらに、解析された入力データに基づいて、画像データ作成部 5 のプレビュー作成部 5 a において、顧客が今回注文したスタンプの印面を描いたプレビュー画像が作成される。そして、ステップ S 2 7 に進み、ステップ S 2 6 で作成されたプレビュー画像が、これが貼り付けられる HTML ファイルと共に通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。

【 0 0 6 1 】

次に、ステップ S 2 8 では、プレビュー表示画面に表示された 3 つのボタンのいずれがマウスクリックされたかが入力データ解析部 3 a で判断される。その結果、別注文実行ボタンがマウスクリックされた場合には、ステップ S 2 2 に戻って同様の手順を繰り返して行う。また、印面修正ボタンがマウスクリックされた場合には、ステップ S 2 4 に戻って印面情報入力用の HTML ファイルが既に入力されているデータを伴って再度コンピュータ 2 0 に送信される。また、注文ボタンがマウスクリックされた場合には、ステップ S 2 9 に進む。

【 0 0 6 2 】

ステップ S 2 9 では、ステップ S 2 4 で送信された印面情報入力画面に入力された人的情報がウェブ管理部 3 の出力データ生成部 3 b に送られる。さらに、出力データ生成部 3 b は、データベース管理部 6 がウェブページデータベース 8 から取り出した注文情報入力用の HTML ファイルのスタンプの発注者および届け先の入力欄に、プレビュー画面を作成する際に印面情報入力画面に入力された人的情報がそれぞれ書き換え可能に埋め込まれた状態のファイルを作成する。

【 0 0 6 3 】

そして、ステップ S 3 0 では、ステップ S 2 9 において作成された注文情報入力用の HTML ファイルが、通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。続いて、ステップ S 3 1 では、注文情報入力用画面に表示された 2 つのボタン（注文確定ボタンおよび注文取消ボタン）のいずれかがマウスクリックされたかどうかが入力データ解析部 3 a で判断される。いずれのボタンもマウスクリックされない場合には（S 3 1 : NO）、ステップ S 3 1 が繰り返して実行される。また、注文取消ボタンがマウスクリックされた場合、本販売フローが終了し、コンピュータ 2 0 にトップページが送信される。また、注文確定ボタンがマウスクリックされた場合、ステップ S 3 2 に進む。

【 0 0 6 4 】

ステップ S 3 2 では、データベース管理部 6 が、今回の注文をした発注者（注文情報入力用画面の発注者欄に入力された者）に新たに顧客 ID を作成する。そして、ステップ S 3 3 では、データベース管理部 6 によってウェブページデータベース 8 からスタンプの注文確認用の HTML ファイルが取り出され、その HTML ファイルが出力データ生成部 3 b においてステップ S 3 2 で作成された顧客 ID を含むように書き換えられる。書き換えられた注文確認用の HTML ファイルは、ステップ S 3 4 において、通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。このとき送信される注文確認用の HTML ファイルは、図 9 に示すように、発行された ID を含むようにブラウザ 2 1 に表示される。しかる後、図 4 のステップ S 2 0 に進んで、データベース管理部 6 によって、図 2 に示した顧客データベース 7 に顧客 ID と共に顧客情報および 1 回目の注文情報が書き込まれる。

【0065】

このように、本実施の形態によると、顧客は注文しようとするスタンプ印面のプレビュー画像をブラウザ21上で確認してからスタンプの購入を決定することができる。従って、自分の思い描いていた印面イメージとは異なるスタンプが製造されて手元に届くことが事実上なくなり、顧客は安心してスタンプを注文することが可能である。これにより、インターネットを用いたスタンプのウェブ販売の利便性が大幅に向上する。

【0066】

また、プレビュー画像は顧客がプレビュー閲覧ボタンをクリックしてプレビュー画像の受信を要求したときだけ作成されて顧客のコンピュータ20に送信されるので、プレビュー画像を表示させるためにコンピュータ1とコンピュータ20との間でプレビュー画像のデータ通信が行われるのは、印面情報の入力が終わったからの1度だけである。従って、コンピュータ1とコンピュータ20との間の通信速度が遅い場合であっても、プレビュー画像のデータ通信に多大な時間を要することがなく、顧客がストレスを感じる事が少なくなる。

【0067】

また、本実施の形態では、スタンプの注文に際してIDが入力された場合には、そのIDをもつ顧客本人の人的情報が印面に表示されたスタンプのプレビュー画像（個別サンプル画像を含む）がブラウザ21に表示されるので、キーボードなどを用いて印面内容を入力するのに要する顧客の労力が減少する。

【0068】

また、本実施の形態では、IDをもたない顧客からの注文があった場合にデータベース管理部6がIDを発行し、それが顧客に通知されるので、顧客は次回からの注文が容易になる。

【0069】

なお、本実施の形態において、コンピュータ20が過去においてコンピュータ1からスタンプを購入するために用いられたことがある場合、コンピュータ20内にはコンピュータ20を識別する識別子として機能するクッキーといわれるコンピュータ1から送信されたデータファイルが記憶されていてよい。顧客識別子

としてのクッキーを上述したIDの代わりに用いれば、顧客はID入力の手間を省くことができる。

【0070】

また、本実施の形態では、過去のスタンプ注文情報に基づいて顧客が過去に注文したスタンプ印面のレビュー画像を再現してブラウザ21に表示することができるので、顧客は過去に購入したスタンプレイアウトを参考にしつつ新たに購入する製品の内容を決定することができるという利点がある。さらに、本実施の形態では、スタンプ印面のレビュー画像と個別サンプル画像とがブラウザ21に表示されるので、顧客は新たに購入する製品の内容を容易に決定することができる。なお、予め購入を希望するスタンプのタイプなどを入力するようにすれば、スタンプ印面のレビュー画像とプレビュー画像とをブラウザ21に表示することも可能である。

【0071】

また、本実施の形態では、IDの入力があった場合に、顧客データベース7に記憶された顧客情報から抽出された情報を、レビュー画像に表示される情報、プレビュー画像に表示される情報および注文情報入力用画面に入力される発注者および届け先の人的情報として利用していると共に、IDの入力がない場合に、印面情報入力画面に入力された人的情報を、注文情報入力用画面に入力される発注者および届け先の人的情報として利用するようにしているので、顧客は重複した情報を入力する必要がなくなり、スタンプ注文時に顧客がキーボードなどから文字を入力する手間が大幅に削減される。また、入力ミスなどによって間違った印面のスタンプが製造される確率も減少する。

【0072】

なお、このようにキーボードなどから入力されたデータおよび／または顧客データベース7に記憶されたデータを相互にリンクさせて利用することは、他の場合においても行われてよい。例えば、IDの入力がない場合に、注文情報入力用画面に入力された発注者および届け先の人的情報のいずれかを、印面情報入力画面に入力される人的情報として利用するようにしてもよいし、或いは、IDの入力がない場合に、注文情報入力用画面に入力される発注者の人的情報を、注文情

報入力用画面に入力される届け先の人的情報や印面情報入力画面に入力される人的情報として利用するようにしてもよい。

【0073】

次に、本実施の形態の変形例として、プレビュー画像をリアルタイムで作成する場合について、図10および図11に基づいて説明する。図10は、本変形例に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。図11は、本変形例に係るスタンプ販売方法の印面情報入力段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。なお、本変形例は主に図5のステップS10からステップS14まで或いはステップS24からステップS28までに対応する部分について上述の実施の形態と異なっているため、図10にはその相違部分だけを抜粋して示し、ここではその他の部分の説明を省略する。また、ここでは、ステップS3においてIDが入力されなかった場合（つまり、ステップS24からステップS28までに対応した処理）だけを説明するが、IDが入力された場合についてもほぼ同様の処理が行われる。

【0074】

本変形例では、まず、ステップS101において、データベース管理部6がウェブページデータベース8から印面情報入力用のHTMLファイル（図11）を取り出す。そして、このHTMLファイルが通信部2からコンピュータ20に送信される。なお、本変形例では、プレビュー画像をリアルタイムで表示するために、顧客のコンピュータ20のブラウザ21にリアルタイム処理を可能とするプラグインが組み込まれているものとする。

【0075】

図11に示すHTMLファイルのブラウザでの表示画面においては、ステップS7で選択されたスタンプタイプのレイアウトに印面情報に係る文字を直接入力することが可能となっており、さらに、プレビュー閲覧ボタンの代わりに注文ボタンと別注文実行ボタンとが表示されている点で図7のものと異なっている。

【0076】

続いて、ステップS102では、印面情報入力用画面の注文個数以外の入力内容が変更（文字入力、文字削除、インク色変更、または、書体変更）されたかど

うかが、ウェブ管理部3の入力データ解析部3aで判断される。入力内容が変更されない場合には(S102:NO)、ステップS102が繰り返して実行される。また、入力内容が変更された場合(S102:YES)、ステップS103に進む。

【0077】

ステップS103では、印面情報入力用のHTMLファイルに入力されたデータが入力データ解析部3aで解析される。さらに、解析された入力データに基づいて、画像データ作成部5のプレビュー作成部5aにおいて、顧客が今回注文したスタンプの印面を描いたプレビュー画像が作成される。このプレビュー画像は、印面情報入力用画面で入力された書体、インク色、印面文字列内容を反映したものである。そして、ステップS104に進み、ステップS103で作成されたプレビュー画像が通信部2からコンピュータ20に送信される。これに伴って、コンピュータ20のブラウザ21には、顧客が特にプレビュー閲覧ボタンをクリックするなどの特別の動作を行わなくても、入力内容が変更されることに応答してスタンプ印面のプレビュー画像がリアルタイムで表示される。

【0078】

次に、ステップS105に進み、さらに印面情報入力用画面の注文個数以外の入力内容が変更されたかどうか、或いは、印面情報入力用画面に表示された2つのボタンのいずれがマウスクリックされたかが入力データ解析部3aで判断される。その結果、入力内容が変更されたと判断された場合には、ステップS103に戻って同様のリアルタイム処理が繰り返して行われ、変更されたプレビュー画像がステップS104でコンピュータ20に送信される。

【0079】

また、別注文実行ボタンがマウスクリックされた場合には、ステップS22に戻って同様の手順を繰り返して行う。また、注文ボタンがマウスクリックされた場合には、図4のステップS29に進む。

【0080】

このように、本変形例によると、文字入力内容を変更するだけで特にボタンをクリックするなどの操作を行わなくてもプレビュー画像がリアルタイムで顧客の

コンピュータ 2 0 のブラウザ 2 1 に表示されるので、購入者は文字の入力に応じて逐次プレビュー画像を自動的に確認することが可能になる。そのため、特に、サーバクライアント間の通信速度が速い場合には有効である。

【 0 0 8 1 】

なお、図 1 1 では印面内容入力欄を空欄としているが、ステップ S 3 で I D が入力された場合には、予めこの入力欄に顧客の住所、氏名などがそれぞれ入力された状態、つまり最初からプレビュー画像が表示された状態でコンピュータ 2 0 に印面入力用 HTML ファイルが送信されてもよい。

【 0 0 8 2 】

次に、本実施の形態の別の変形例として、多数のプレビュー画像をインク色ごと、書体ごと、サイズごとに多数回にわけて多段表示する場合について、図 1 2 を参照して説明する。図 1 2 は、本変形例に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。なお、本変形例は、印面情報入力画面においてインク色および書体の選択ラジオボタンが表示されないことを除いては、主に図 3 のステップ S 1 2 からステップ S 1 3 まで或いはステップ S 2 6 からステップ S 2 7 までに対応する部分において上述の実施の形態と異なっているため、図 1 2 にはその相違部分だけを抜粋して示し、ここではその他の部分の説明を省略する。また、本変形例の処理は、ステップ S 3 において I D が入力されなかった場合と、I D が入力された場合とで実質的に同じである。

【 0 0 8 3 】

まず、ステップ S 2 0 1 では、ステップ S 1 0 で顧客に送信された HTML ファイルに入力された印面文字列内容のデータが入力データ解析部 3 a で解析される。さらに、解析された入力データに基づいて、画像データ作成部 5 のプレビュー作成部 5 a において、顧客が今回注文したスタンプの印面を描いたプレビュー画像が作成される。このとき作成されるのは、代表的な 1 つの文字書体（例えば、明朝体）を用いて印面情報入力用画面で入力された印面文字列内容を反映したものであって、製造可能なインク色の数（例えば、黒、赤、青の 3 種類）に対応した複数のプレビュー画像である。

【 0 0 8 4 】

そして、ステップ S 2 0 2 に進み、ステップ S 2 0 1 で作成されたプレビュー画像の貼り付けタグをもつ HTML ファイルがウェブページデータベース 8 から取り出され、取り出された HTML ファイルがインク色の異なる複数のプレビュー画像と共に通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。その結果、コンピュータ 2 0 のブラウザ 2 1 には、同一印面文字列内容で同一書体をもつ複数のインク色のプレビュー画像が表示される。

【 0 0 8 5 】

次に、ステップ S 2 0 3 では、ステップ S 2 0 2 で送信された多色プレビュー表示画面に表示された色の異なるプレビュー画像のいずれがマウスクリックされたかが入力データ解析部 3 a で繰り返し判断される。その結果、いずれのプレビュー画像もマウスクリックされない場合には、ステップ S 2 0 3 が再度実行され、ある特定のインク色に係るプレビュー画像がマウスクリックされた場合には、ステップ S 2 0 4 に進む。

【 0 0 8 6 】

ステップ S 2 0 4 では、画像データ作成部 5 のプレビュー作成部 5 a が、ステップ S 2 0 3 でマウスクリックされた特定のインク色と印面情報入力用画面で入力された印面文字列内容とを反映しており、製造可能な文字書体の数（例えば、明朝体、ゴシック体、正楷書体の 3 種類）に対応した複数のプレビュー画像を作成する。

【 0 0 8 7 】

そして、ステップ S 2 0 5 に進み、ステップ S 2 0 4 で作成されたプレビュー画像の貼り付けタグをもつ HTML ファイルがウェブページデータベース 8 から取り出され、取り出された HTML ファイルが文字書体の異なる複数のプレビュー画像と共に通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。その結果、コンピュータ 2 0 のブラウザ 2 1 には、同一印面文字列内容で同一インク色をもつ複数の文字書体のプレビュー画像が表示される。

【 0 0 8 8 】

次に、ステップ S 2 0 6 では、ステップ S 2 0 5 で送信された多書体プレビュー表示画面に表示された文字書体の異なるプレビュー画像のいずれがマウスクリ

ックされたかが入力データ解析部 3 a で繰り返し判断される。その結果、いずれのプレビュー画像もマウスクリックされない場合には、ステップ S 2 0 6 が再度実行され、ある特定の文字書体に係るプレビュー画像がマウスクリックされた場合には、ステップ S 2 0 7 に進む。

【 0 0 8 9 】

ステップ S 2 0 7 では、画像データ作成部 5 のプレビュー作成部 5 a が、ステップ S 2 0 3 でマウスクリックされた特定のインク色とステップ S 2 0 6 でマウスクリックされた特定の文字書体と印面情報入力用画面で入力された印面文字列内容とを反映しており、製造可能な印面サイズの数に対応した複数のプレビュー画像を作成する。なお、これまでに作成されたプレビュー画像は、ステップ S 7 で選択されたレイアウトの印面サイズを反映したものであったが、ここでは、その印面を製造可能な印面サイズ毎に縦横同比率で拡大或いは縮小したプレビュー画像が作成される。

【 0 0 9 0 】

そして、ステップ S 2 0 8 に進み、ステップ S 2 0 7 で作成されたプレビュー画像の貼り付けタグをもつ HTML ファイルがウェブページデータベース 8 から取り出され、取り出された HTML ファイルが印面サイズの異なる複数のプレビュー画像と共に通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。その結果、コンピュータ 2 0 のブラウザ 2 1 には、同一印面文字列内容、同一インク色で同一書体をもつ異なるサイズのプレビュー画像が表示される。このとき、ブラウザ 2 1 には、各プレビュー画像に隣接して注文を希望する 1 または複数個のスタンプを選択するためのチェックボックスと、注文ボタンとが表示される。

【 0 0 9 1 】

次に、ステップ S 2 0 9 では、ステップ S 2 0 8 で送信された多サイズプレビュー表示画面に表示された注文ボタンがマウスクリックされたかが入力データ解析部 3 a で繰り返し判断される。その結果、注文ボタンがマウスクリックされない場合には、ステップ S 2 0 9 が再度実行され、注文ボタンがマウスクリックされた場合には、どのチェックボックスにチェックが入っているかが入力データ解析部 3 a で判断された後にステップ S 2 1 0 に進む。

【 0 0 9 2 】

ステップ S 2 1 0 では、画像データ作成部 5 のプレビュー作成部 5 a が、今まで入力された情報を用いて、当該サーバで受注が可能なスタンプ以外の 1 または複数の製品（例えば名刺、表札など）についてのプレビュー画像を作成する。

【 0 0 9 3 】

そして、ステップ S 2 1 1 に進み、ステップ S 2 1 0 で作成されたプレビュー画像の貼り付けタグをもつ HTML ファイルがウェブページデータベース 8 から取り出され、取り出された HTML ファイルが他製品のプレビュー画像と共に通信部 2 からコンピュータ 2 0 に送信される。その結果、コンピュータ 2 0 のブラウザ 2 1 には、スタンプ以外の製品のプレビュー画像が表示される。なお、他製品についてもインク色やレイアウト、文字書体などが選択できるようになっていてもよい。

【 0 0 9 4 】

このように、本変形例によると、インク色、文字書体、または、サイズの異なるスタンプ印面のプレビュー画像をそれぞれ複数表示させることができるので、顧客がスタンプ印面の事前確認をより確実に行うことが可能となり、顧客はより安心してスタンプの購入が可能となる。また、本変形例では、スタンプとは種類の異なる名刺などの製品についてもプレビュー画像を表示させることができるので、顧客に別種類の製品の購入を促して販売促進を図ることが可能となる。

【 0 0 9 5 】

次に、本実施の形態の販売システムを利用してスタンプをダイレクトメール販売する場合について、図 1 3 および図 1 4 を参照して説明する。図 1 3 は、本実施の形態に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。図 1 4 は、本実施の形態によってクライアントのメーラに示される画面の表示例を描いた図である。なお、本実施の形態のようなダイレクトメール販売は ID を有する顧客に対して行われる。

【 0 0 9 6 】

まず、ステップ S 3 0 1 では、スタンプタイプデータベース 9 に新しいスタンプデザインの追加更新があったかどうかデータベース管理部 6 で判断される。

そして、スタンプタイプデータベース9に追加更新がなければ（S301：NO）、ステップS301が繰り返して実行され、スタンプタイプデータベース9に追加更新があったと判断されると（S301：YES）、ステップS302に進む。

【0097】

ステップS302では、顧客データベース7からダイレクトメールを送信する顧客の電子メールアドレスおよび追加されたスタンプデザインに必要な情報（氏名、住所など）が抽出される。なお、ダイレクトメールを送信する顧客は、顧客データベース7に登録されたすべての顧客である必要はなく、所定の要件（過去の販売実績や住所、年齢など）を満たす顧客だけであってもよい。

【0098】

次に、ステップS303に進んで、画像データ作成部5のプレビュー作成部5aが、顧客データベース7から抽出された情報を用いて、追加されたスタンプデザインについてのプレビュー画像を作成する。このスタンプは、顧客の電子メールアドレス、氏名、電話番号の少なくともいずれかを含むものであってよい。

【0099】

そして、ステップS304では、メール管理部4の送信メール生成部4bにおいて、ステップS303で作成されたプレビュー画像を含む、各IDに関連したメールアドレスへのメールが作成される。そして、作成されたメールは、ステップS305において、通信部2からそのメールアドレス宛てに送信される。

【0100】

これにより、メールを受信した顧客のメーラ22には、図14に示すような新規デザインスタンプのプレビュー画像と、発注用のラジオボタンと、返信ボタンとを含むメールが表示される。従って、スタンプの高級を希望する顧客が、ラジオボタンで「発注する」を選択してから返信ボタンを押すと、その旨の返信メールがコンピュータ1に送信される。

【0101】

ステップS306では、選択されたすべてのIDについてメール送信が完了したかどうか判断される。もし送信が完了していないのならば（S306：NO

）、ステップS302に戻って同様の処理が繰り返して行われる。また、送信が完了していれば（S306：YES）、ステップS307に進む。

【0102】

ステップS307では、POPに基づいてメール受信があったかどうか、メール管理部4の受信メール解析部4aで判断される。そして、受信メールがなければ（S307：NO）、ステップS307が繰り返して実行され、受信メールがあれば（S307：YES）、ステップS308に進む。

【0103】

ステップS308では、受信メール解析部4aが、受信したメールの送信元のアドレスから、顧客データベース7のデータを参照しつつ、受信メールに係る顧客のIDを特定する。

【0104】

次に、ステップS309において、送信メール生成部4bが、ウェブページデータベース8に記憶されたメールファイルを利用して、注文確認のための電子メールを作成する。作成された電子メールは、ステップS308で特定されたIDのメールアドレスに送信される。

【0105】

続いて、ステップS310では、データベース管理部6が、今回のダイレクトメールによる注文内容に基づいて、注文に係るIDに関して顧客データベースを書き換える。

【0106】

次に、ステップS311において、メール管理部4の送信メール生成部4bが、スタンプ製造業者のコンピュータ30宛のメールを生成する。このメールは、今回の注文に係る印面内容情報を含むものである。そして、作成されたメールは、通信部2からインターネット40を介してコンピュータ30に送信され、メラ32に表示される。なお、メールの代わりに、注文に係る印面情報がブラウザ31に表示されるように、HTMLファイルを用いてもよい。

【0107】

また、ここで説明したようなメール販売の場合は、インク色や印面文字列など

の印面内容を顧客が選択することはせず、サーバ側で適切と思われる印面内容のプレビュー画像を作成してメールで送信する。そのため、メールで送られてきたプレビュー画像を変更したいと思う顧客は、販売サイトにアクセスして上述したウェブを利用した通常の販売手順を踏む必要がある。

【0108】

このように、本実施の形態によると、新たなデザインのスタンプのプレビュー画像を顧客データベース7に記憶された顧客に電子メールとして送信することで、顧客はわざわざカタログなどを見たり、スタンプ販売サイトにアクセスしたり、注文書にデータ入力を行うなどしなくとも返信ボタンを押すだけで簡便にスタンプの発注ができるので、顧客の購買意欲を刺激して新たな需要を喚起することができる。

【0109】

以上、本発明の好適な一実施の形態について説明したが、本発明は上述の実施の形態に限られるものではなく、特許請求の範囲に記載した限りにおいて様々な設計変更が可能なものである。例えば、本発明は、スタンプや名刺以外にも様々な個別情報表示製品に適用可能である。

【0110】

【発明の効果】

以上説明したように、請求項1、8、11によると、個別情報表示製品の購入者はプレビュー画像をブラウザ上で確認してから個別情報表示製品の購入を決定することができるようになるので、自分の思い描いていたイメージとは異なる製品が製造されてしまうという事態を未然に防止することができる。これにより、通信ネットワークを用いた商取引の利便性が大幅に改善される。

【0111】

請求項2、9、12によると、プレビュー画像がリアルタイムでブラウザに表示されるので、購入者は文字の入力に応じて逐次プレビュー画像を自動的に確認することが可能になる。また、請求項3、10、13によると、プレビュー画像がクライアントからのプレビュー受信要求に応答して行われるので、プレビュー画像を表示させるためにサーバとの間でデータ通信が行われるのは最終的に個別

情報の入力が終わってからの１度だけでよく、通信ネットワークの通信速度が遅い場合であってもサーバとの間のデータ通信に多大な時間を消費することがない。

【 0 1 1 2 】

請求項４～６によると、色、文字書体、または、サイズの異なる個別情報表示製品を複数表示させることができるので、購入者が個別情報表示製品の事前確認をより確実に行うことが可能となる。また、請求項７によると、種類の異なる個別情報表示製品を表示させることができるので、購入者に別種類の個別情報表示製品の購入を促して販売促進を図ることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図１】

本発明の一実施の形態に係るスタンプの販売システムのブロック図である。

【図２】

図１に示す顧客データベースの内容例を描いた図である。

【図３】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。

【図４】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。

【図５】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。

【図６】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法の各段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。

【図７】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法の各段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。

【図 8】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法の各段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。

【図 9】

本発明の一実施の形態に係るスタンプ販売方法の各段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。

【図 1 0】

本発明の一実施の形態の変形例に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。

【図 1 1】

図 1 0 の変形例に係るスタンプ販売方法の印面情報入力段階でクライアントのブラウザに示される画面の表示例を描いた図である。

【図 1 2】

本発明の一実施の形態の別の変形例に係るスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。

【図 1 3】

本発明の一実施の形態のダイレクトメールによるスタンプ販売方法をサーバの動作という観点から示したフローチャートである。

【図 1 4】

実施の形態によってクライアントのメーラに示される画面の表示例を描いた図である。

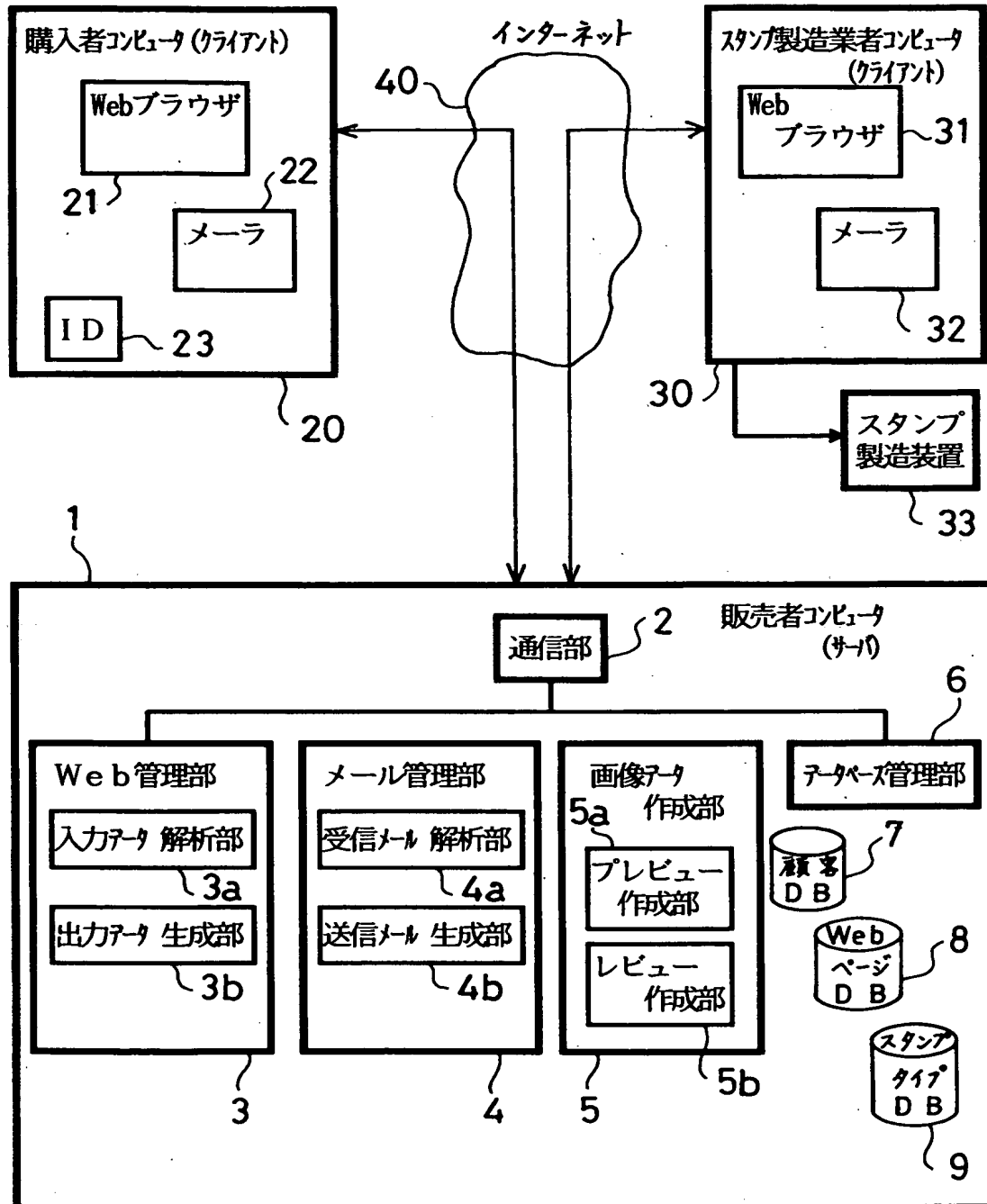
【符号の説明】

- 1 コンピュータ (サーバ)
- 2 通信部
- 3 ウェブ管理部
 - 3 a 入力データ解析部
 - 3 b 出力データ生成部
- 4 メール管理部
 - 4 a 受信メール解析部

- 4 b 送信メール生成部
- 5 画像データ作成部
 - 5 a プレビュー作成部
 - 5 b レビュー作成部
- 6 データベース管理部
- 7 顧客データベース
- 8 ウェブページデータベース
- 9 スタンプタイプデータベース
- 2 0 コンピュータ (クライアント : 顧客)
- 3 0 コンピュータ (クライアント : スタンプ製造業者)
- 4 0 インターネット

【書類名】 図面

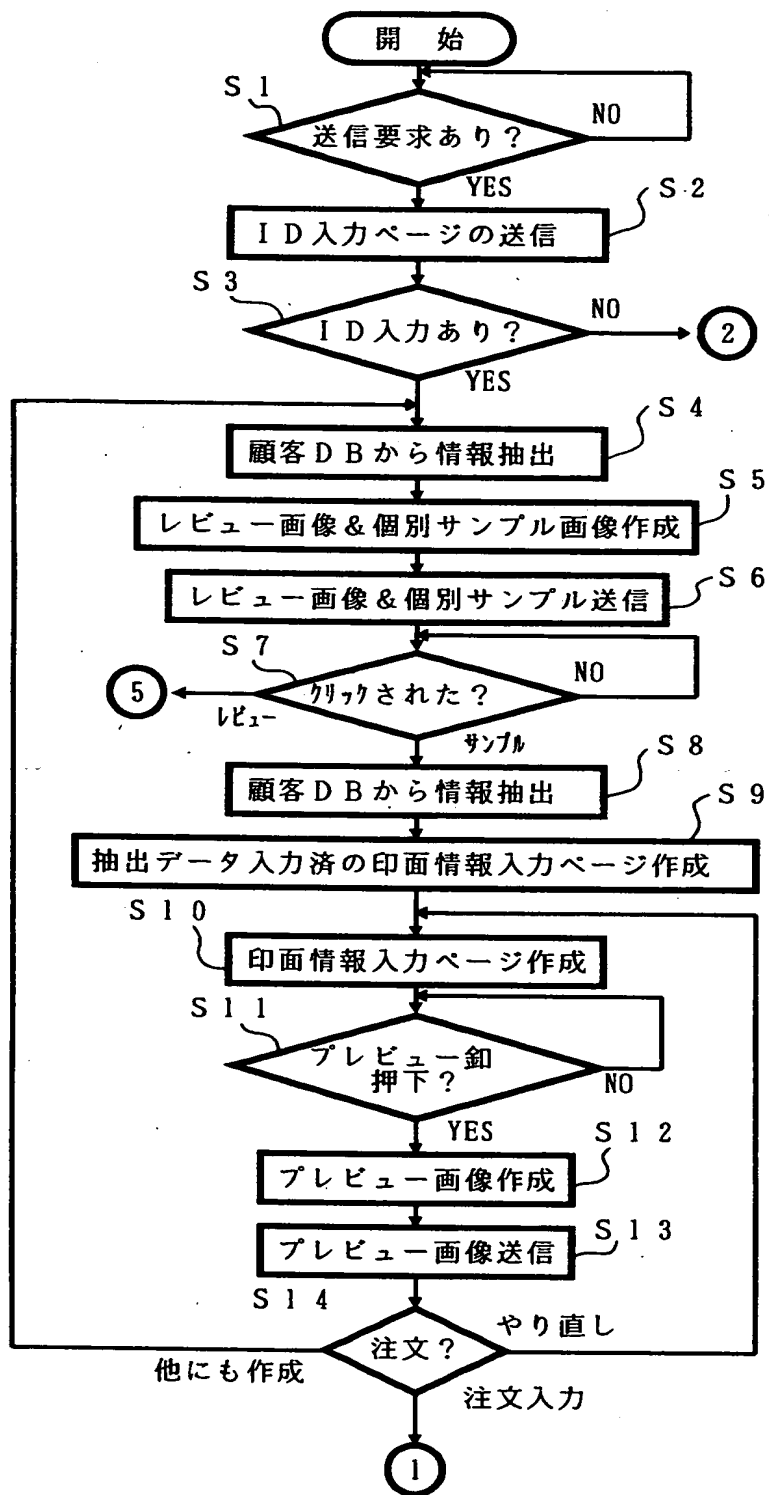
【図 1】



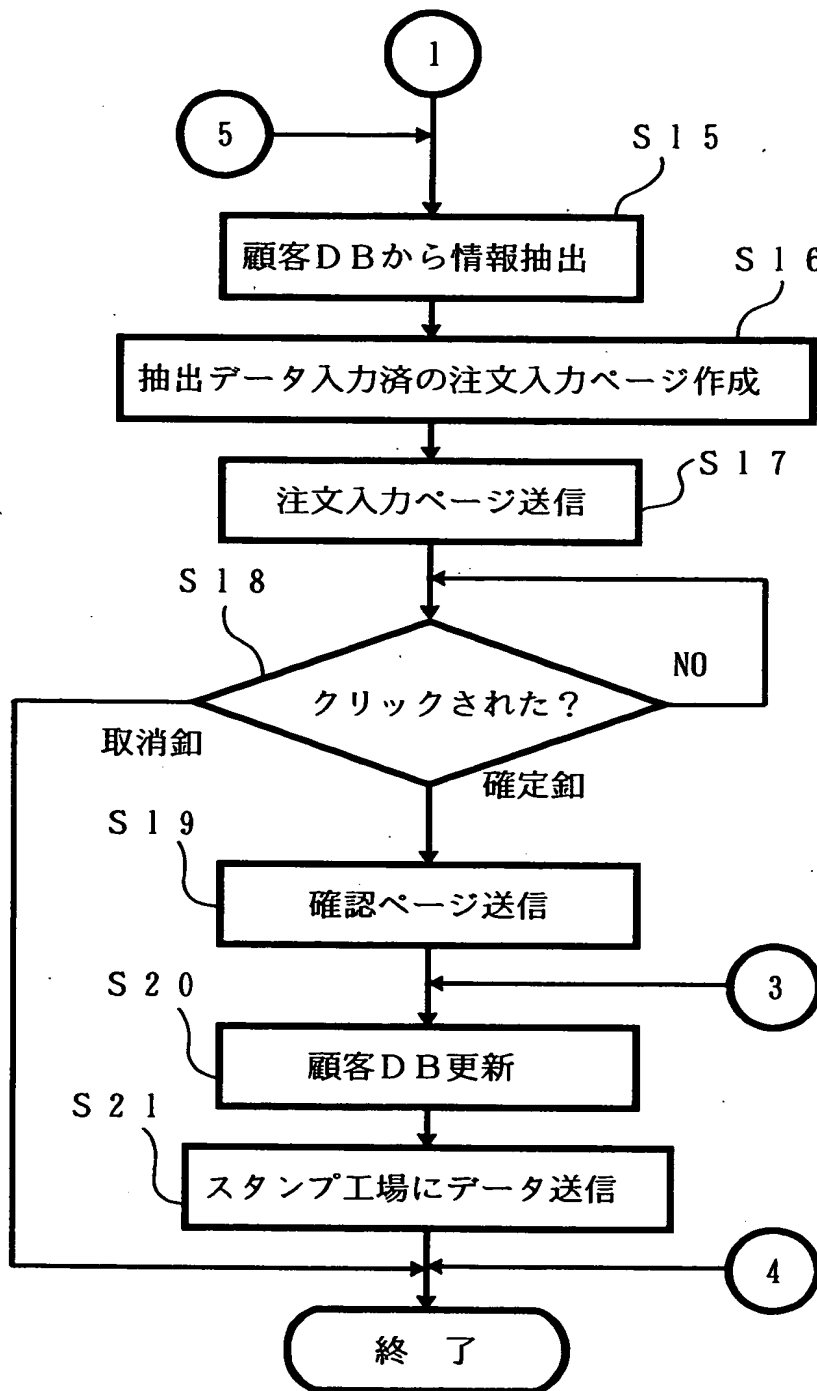
【図2】

顧客本人の人的情報					過去の注文情報							
I D	氏名	住所	電子メール アドレス	TEL その他	1回目							2回目
					注文日	タイプ	印面内容	インク色	書体	個数	届け先情報	
00-001
00-002
.
.
.

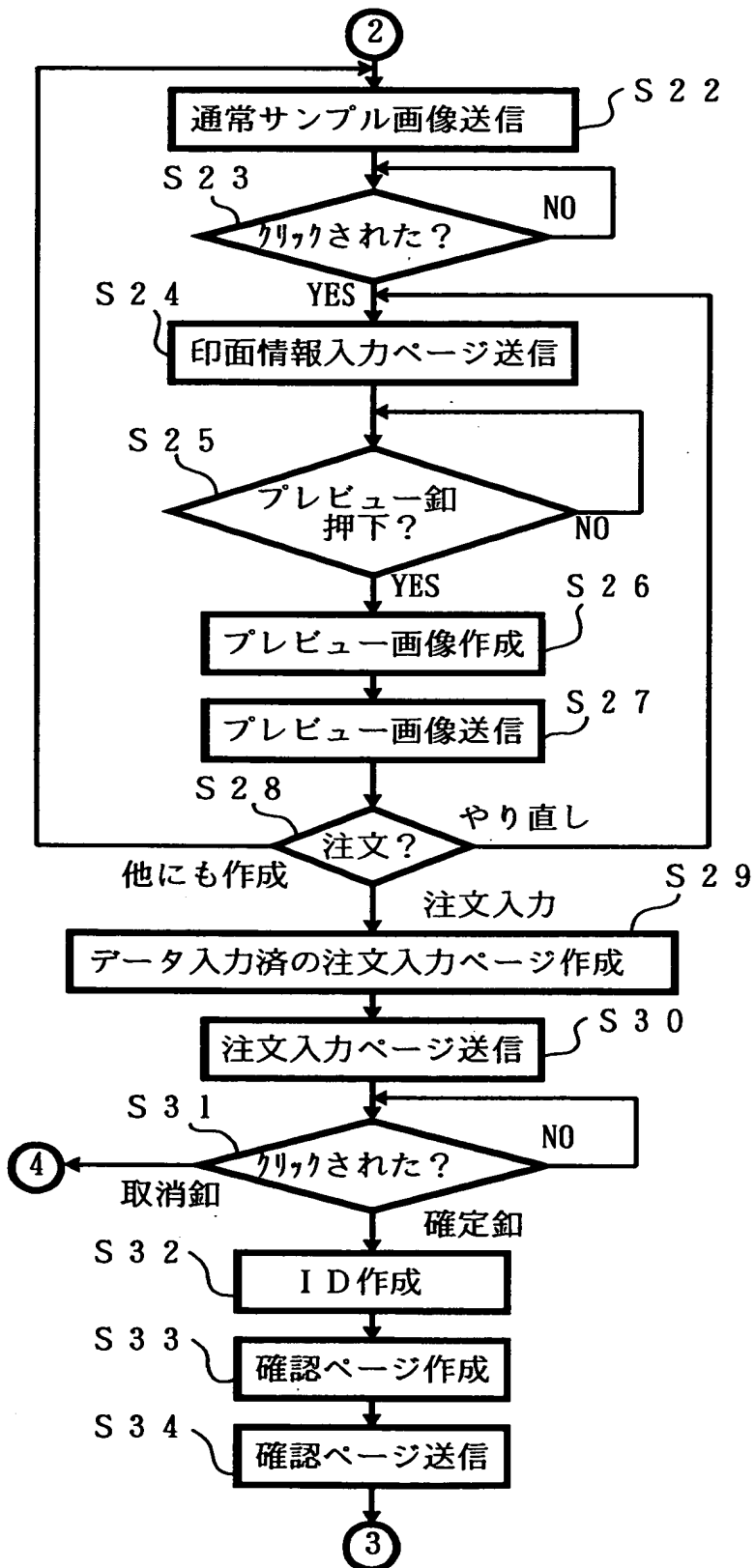
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6.】

IDを入力して下さい

☐ ID有り

☒ IDなし

【図7】

タイプ番号：		A-02	
サイズ：		27×70mm	
インク色：		●黒 ○赤 ○青	
書体：		○明朝体 ●ゴシック体 ○正楷書体	
注文個数：		<input type="text" value="1"/> 個	

〒123-4567			
電話 (012) 1345-6666	山 田 太 郎	● ● 丁目××号	○ ○ 県△△市□□区

お客様入力欄

〒123-4567
<input type="text"/>
○○県△△市□□区
<input type="text"/>
●●丁目××号
<input type="text"/>
山田 太郎
<input type="text"/>
電話(012)-345-6666
<input type="text"/>
<input type="button" value="プレビューを見る"/>

【図8】

プレビュー画面

〒666-7891			
電話 (345) 167819999	木 村 — 良	★ 丁目 ●● 番	◎ ◎ 県 ◇ ◇ 市 □ □ 町

印面を修正する

この印面を注文する

他にも注文する

【図9】

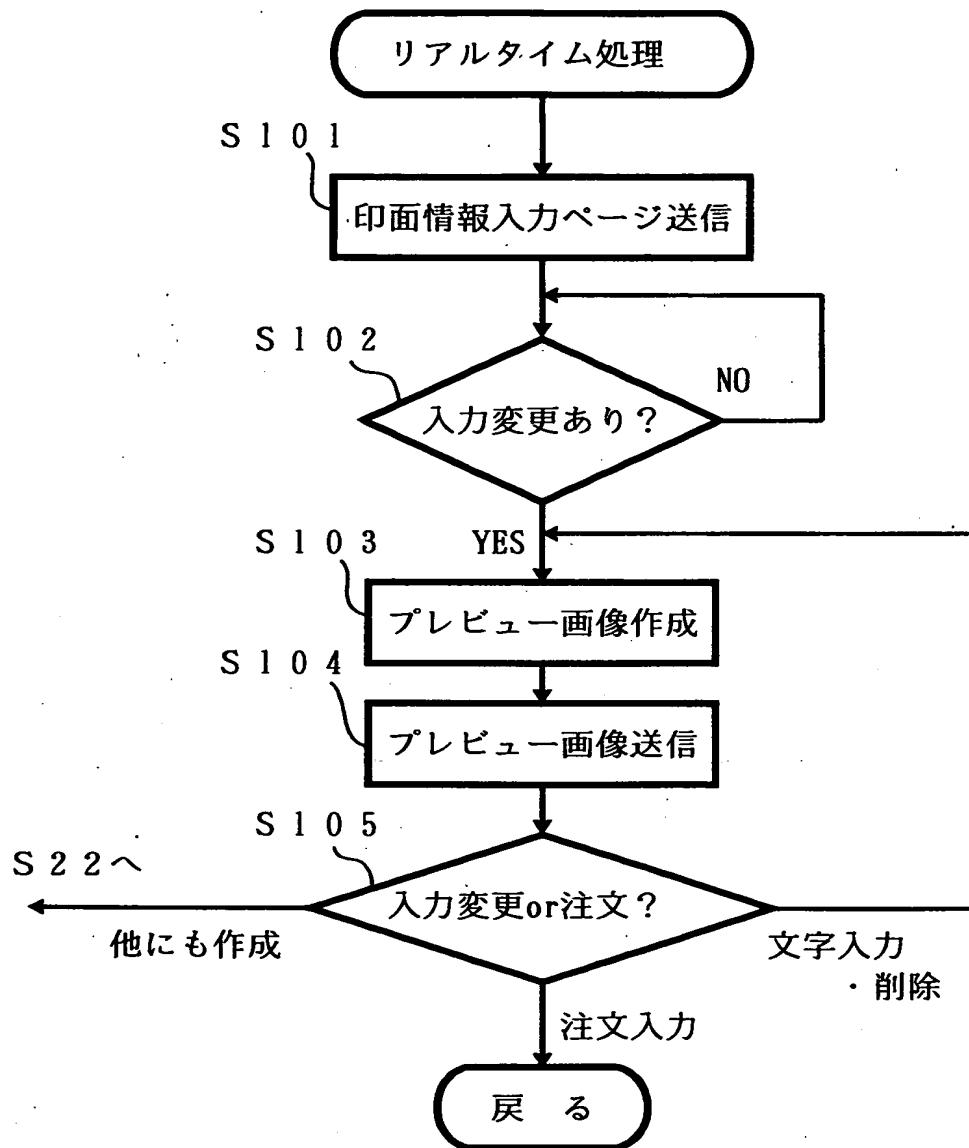
ご注文ありがとうございました

○× 株式会社

あなたのIDは

です

【図10】



【図 1 1】

印面サンプル			
〒123-4567			
電話 012-1345-6666	山 田 太 郎	●●丁目××号	○○県△△市□□区
<div>パターン番号 : A-02</div> <div>サイズ : 27×70mm</div> <div>インク色 : ●黒 ○赤 ○青</div> <div>書体 : ○明朝体 ○ゴシック体 ○正楷書体</div> <div>注文個数 : <input type="text" value="1"/> 個</div> <div> <input type="button" value="注文する"/> <input type="button" value="他にも作成する"/> </div>			

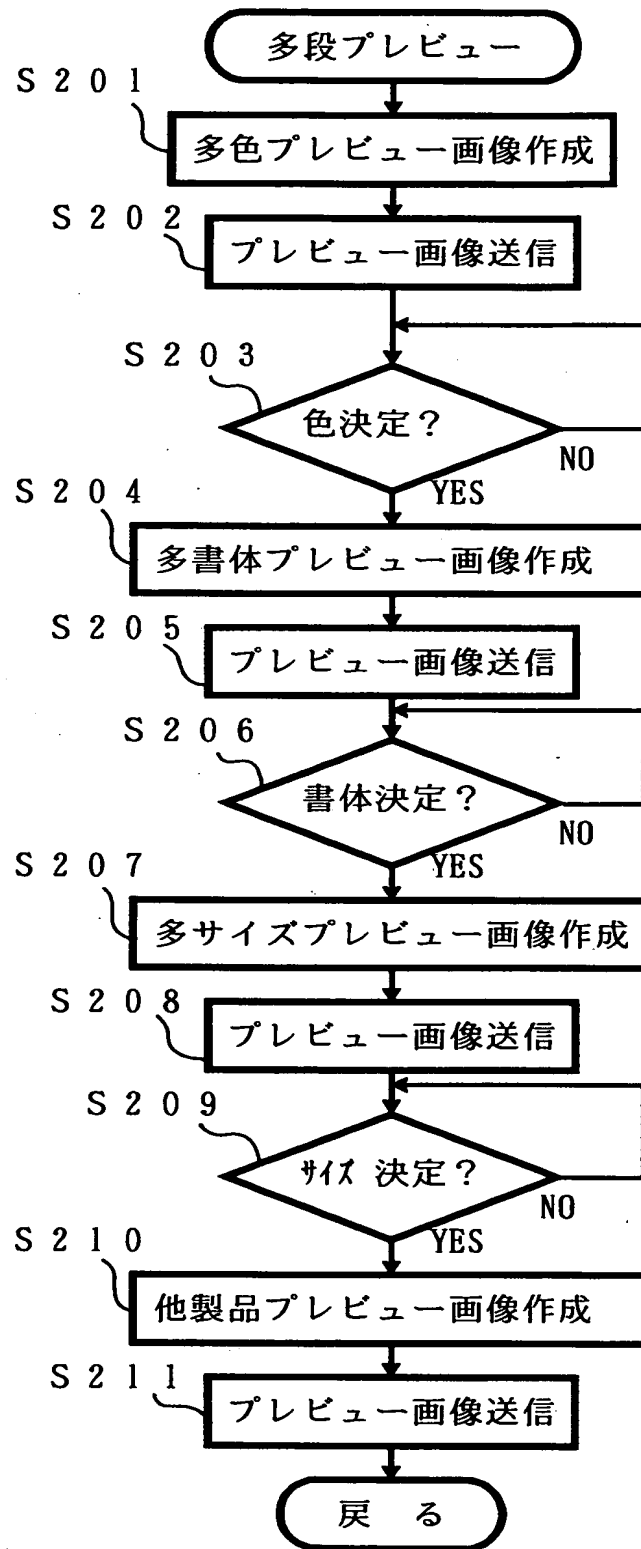
(入力前)



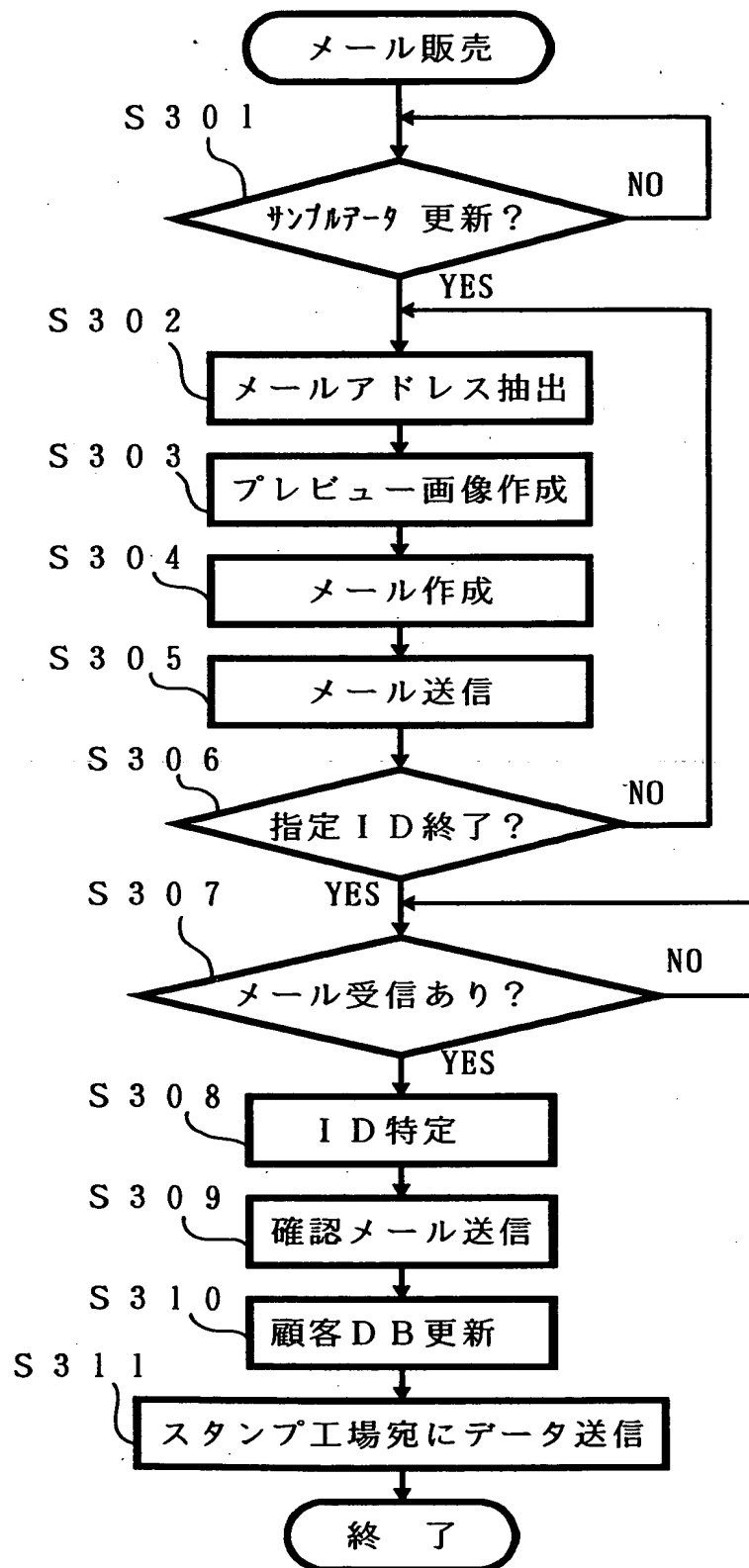
(入力中)

〒666-7891			
	木 村	★丁目●●番	◎◎県◇◇市□□町

【図 1 2】



【図 13】



【図14】

DM案内

Eメールアドレス印セール中

お客様の印は

☒ 発注する

☐ やめる

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 スタンプや名刺などの個別情報が表示された製品をインターネットなどの通信ネットワークを用いて販売する場合に、購入者が製品の仕上がり状態を確認してから安心して製品を注文することを可能とする。

【解決手段】 スタンプの注文を受ける際に、顧客のコンピュータ20から送信された情報または顧客データベース7に記憶された情報を用いて、レビュー作成部5aで注文されたスタンプのレビュー画像を作成する。作成されたレビュー画像は顧客のコンピュータ20に送られてブラウザ21に表示される。

【選択図】 図1

特2000-304370

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005267]

1. 変更年月日	1990年11月 5日
[変更理由]	住所変更
住 所	愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号
氏 名	ブラザー工業株式会社